

平成20年度予算

平成20年度より、公共下水道事業特別会計は、公営企業会計に移行したほか、後期高齢者医療制度の創設により、老人保健事業特別会計の事業費が大幅に減額（1か月分）となり、新たに、後期高齢者医療事業特別会計を設置しました。

平成20年度の当初予算額は、一般会計と特別会計の総額で206億469万円で、前年度に比べ19億5,077万円、8.6%の減（下水道会計を除く）となりました。

また、地方債現在高は、一般会計が前年度に比べ12億2,853万円、4.5%の減、特別会計は同じく9,539万円、8%の減（下水道会計を除く）となる見込みです。

特別会計予算額

会計名	本年度	前年度	差引
国民健康保険事業	28億3,892万円	29億2,495万円	▲8,603万円
港湾埋立事業	2億1,252万円	1億7,123万円	4,129万円
簡易水道事業	7,153万円	4,594万円	2,559万円
交通災害共済事業	3,457万円	3,234万円	223万円
土地取得事業	4億2,457万円	3億9,141万円	3,316万円
老人保健事業	2億9,314万円	29億3,083万円	▲26億3,749万円
営農飲雑用水道事業	3,415万円	3,477万円	▲62万円
介護保険事業	13億3,818万円	12億4,666万円	9,152万円
介護老人福祉事業	2億9,988万円	2億7,309万円	2,679万円
後期高齢者医療事業	2億6,445万円		2億6,445万円
合計	58億1,191万円	80億5,102万円	▲22億3,911万円

地方債現在高見込額（平成21年3月末）

会計名	金額
一般会計	258億629万円
港湾埋立事業特別会計	8億4,621万円
簡易水道事業特別会計	1億8,447万円
合計	268億3,697万円

〔参考〕

公営企業会計予算額

会計名	区分	本年度		前年度	
		収入	支出	収入	支出
水道事業	収益的収支	7億3,809万円	7億2,428万円	7億1,841万円	7億5,206万円
	資本的収支	3億6,500万円	6億9,388万円	2億7,102万円	5億8,751万円
下水道事業	収益的収支	9億350万円	9億6,205万円	20億7,892万円	20億7,892万円
	資本的収支	11億5,664万円	14億9,040万円		

地方債現在高見込額（平成21年3月末）

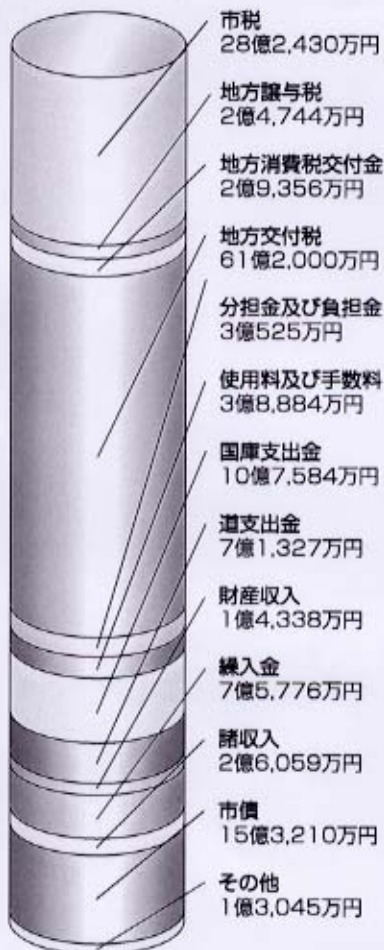
会計名	金額
水道事業公営企業会計	48億4,478万円
下水道事業公営企業会計	104億5,891万円
合計	153億369万円

図 財政課財政係 ☎(24)2111内線248・461番
水道部総務課庶務係 ☎(24)2111内線358番

一般会計予算 147億9,278万円

（特別会計との重複額を含む）

< 歳入 >



< 歳出 >



市議会だより

平成20年第1回臨時市議会は、2月18日開会され、議案等4件を審議して同日閉会しましたので、その内容についてお知らせします。

平成20年第1回臨時市議会

■補正された予算

平成19年度一般会計予算の民生費に364万6千円が追加され、総額で15億3千148万8千円となりました。

補正予算の内容は、後期高齢者医療制度導入に伴う準備経費等のほか、国直轄港湾管理者負担金1億7千200万円（債務負担行為）です。

このほか、国民健康保険事業特別会計29万8千円、公共下水道事業特別会計8千700万円（債務負担行為）、介護保険事業特別会計329万7千円についても、予算補正が行われました。

図 議会事務局
☎(24)2111内線316番